

☆ 鹿児島県の中島秋津子さんが、ACAP 会長賞を受賞 ☆

第25回ACAP「消費者問題に関するわたしの提言」 入賞作決まる

社団法人消費者関連専門家会議(ACAP)が募集・表彰する「消費者問題に関するわたしの提言」の受賞作がこのほど決定し、1月13日(水)、東京にて表彰式が行われました。

ACAPは、1985年から毎年、消費者問題に関する啓発の一環として、「わたしの提言」を募集しています。25回目となる今回は、「消費者新時代 消費者が主役」「消費者と企業のコミュニケーション」「消費者問題に関する自由課題」の3テーマで募集し、全国から128作品の応募がありました。

厳正なる審査の結果、内閣府特命担当大臣賞は該当作品がなく、ACAP会長賞は、中島秋津子さん(鹿児島県鹿児島市在住)に授与されました。

中島さんは、『ソーシャル消費:社会的課題の解決という「いいこと」につながる新しい消費スタイルの促進』と題し、課題の解決につながるものを選択する、社会に役立つ消費生活を行う「ソーシャル消費」の促進・定着を提案し、消費者が無理なく、意味のある消費を行うことで、社会のさまざまな課題を解決していくことを提言にまとめています。その他、佳作には下記の3作品が選出されました。



1. 応募状況

- (1)応募総数 128 作品(学生 50.0%、一般 50.0%)
- (2)応募者の性別 男性 46.9%、女性 49.2%、グループ 3.9%
- (3)応募者の年代 10代 1.6%、20代 46.8%、30代 7.8%、40代 12.5%、50代 13.3%、60代 8.6%、70代以上 8.6%、不明 0.8%
- (4)応募テーマ (%は応募作品中の比率)
- ①消費者新時代 消費者が主役 … 15.6%
 - ②消費者と企業のコミュニケーション … 18.8%
 - ③消費者問題に関する課題(テーマを自由に設定) … 65.6%

2. 審査状況

- (1)第一次・二次審査(2009年11月6日実施)応募 128 作品より8作品を選出。
- (2)本審査(2009年11月17日実施)第一次・二次審査を通過した8作品から各賞を選定。
- | | | |
|--|--|---|
| <p><審査委員長></p> <p><審査委員></p> | <p>日本消費者教育学会長</p> <p>(社)全国消費生活相談員協会理事長</p> <p>(社)共同通信社編集局文化部長</p> <p>消費者庁消費者情報課長</p> <p>(社)消費者関連専門家会議理事長</p> | <p>西村 隆男 氏</p> <p>山上 紀美子 氏</p> <p>細田 正和 氏</p> <p>川辺 英一郎 氏</p> <p>滝田 章</p> |
|--|--|---|

3. 審査結果

| 賞 | 題名 | 氏名 | 所属等 |
|--------------------|---|-------------------|----------------------------------|
| 内閣府 特命担当 大臣賞 | 該当作品なし | | |
| ACAP 会長賞 | ソーシャル消費:社会的課題の解決という「いいこと」につながる新しい消費スタイルの促進 | なかしま あつこ 中島秋津子 | 事業コンサルタント (鹿児島県鹿児島市在住) |
| 佳作 | クチコミ社会突入にむけて ～インターネット上におけるクチコミ ネットワークの整備～ | いぢやま しおり 櫛山 紫織 | 東京経済大学 経営学部2年生 (東京都世田谷区在住) |
| 佳作 | ～from Farm to Table～ 消費者と企業のコミュニケーションが推 進する食の安全安心 | たかい きよこ 高井 聖子 | 会社員 (愛知県北名古屋市在住) |
| 佳作 | パーソナライゼーションをよりよく利用す るために | にしお みつり 西尾 光則 | 会社員 (大阪府豊中市在住) |

■入賞作品の要旨は、添付資料をご参照ください。

■全文は、ACAPホームページ(<http://www.acap.or.jp>)に掲載します。

4. 本審査委員会講評

<全体>

- ・今年度で25回目を迎えた「わたしの提言」の募集には、昨年度に比べ、約2倍となる128の応募作品が寄せられました。今回は、消費者庁設置元年の募集であり、消費者としての視点や生活問題への意識が高まっている中で、応募数が増加していることについて、審査委員一同、大変心強く思っております。
- ・なかでも、学生の応募数の増加が目覚ましく、前回は学生が約3割、一般が約7割であった応募が、今回は5対5となっており、様変わりしています。こうしたことから、若い方への消費者問題に対する意識の高まりや、裾野の拡がりを実感できたことも、今回の大きな収穫のひとつであろう、と考えられます。
- ・「わたしの提言」の最高賞は、内閣府特命担当大臣賞ですが、残念ながら、該当作はございません。第25回につきましては、1作品がACAP会長賞、3作品が佳作に選ばれました。

<ACAP会長賞>

- ・中島さんの作品は、「人の生活を守り、社会に役立つ消費生活」への参加を推奨する「ソーシャル消費」という考え方はたいへん興味深く、先端的な発想であるとして、審査委員会では最も高い評価を受けました。身近な消費生活の中に「意味」を持たせることによって、消費者と企業が、より良い消費社会への実現に向かって歩んでいこうとするこの提案内容は、新たな可能性、将来性を感じさせる、斬新な視点からの作品であったことから、ACAP会長賞に選ばれました。

<佳作>

- ・櫛山さんの作品は、学生らしく、時代を反映したテーマであったと思います。現在「クチコミ」は、インターネットを媒体として爆発的に広がっています。これらの情報は、非常に利便性が高いと言えますが、逆に大きな危険性もはらんでいます。この「クチコミ」と言うネットワークを整理し、透明化した上で、有効活用していこうとするこの提言は、これからの消費者と企業とのダイレクトな関係作りの上でも、新たなヒントを与えてくれ

る作品ではないかと、評価されました。

- ・ 高井さんからは、「食の安全・安心」に関する提言をいただきました。不祥事が多発したことによって揺らいでいる「食の安全性」、また「食料自給率低下」「食品の大量廃棄」など、さまざまな問題を解決するためには、消費者の主体的な参画が必要である。そして、消費者と企業が、双方向でコミュニケーションを取り合うことによって、「食の安全・安心」を確保し、豊かな暮らしをともにつくっていこう、とするこの作品は、メッセージ性の高いものでした。
- ・ 西尾さんからは、「パーソナライゼーション」をテーマに、より良い利用方法についての提言がありました。この内容は、インターネットを使用した消費者の個人情報、どこでどのように利用されているのかを確認するとともに、消費者が無自覚に使用することによる問題点を指摘した上で、「表示内容の標準化」「個人データを資産と考える意識の啓蒙」など、幅広い角度からの改善提案が行われており、深い示唆に富んだ作品でした。

<ACAP会長賞受賞作の要約>

「ソーシャル消費：社会的課題の解決という「いいこと」につながる新しい消費スタイルの促進」

中島秋津子

要旨

エコ活動など社会的利益を重視した消費者の行動が定着してきた。コース・リレイテッド・マーケティングを導入する企業も増えた。消費行動の中で、社会的課題の解決につながるものを選択する行動、つまり「ソーシャル消費の促進」について提言する。まず消費者団体には、それらの活動を消費者につなぐ媒介者としての役割を期待する。二つ目に、多様な社会的課題がある中、年度テーマを設定・広報し、土壌を耕すべきだ。三つ目は、消費者が行動しやすいアクション・ガイド等、消費者への情報提供フレームの構築が重要となる。四つ目に、小さな金額を多くの人から集めるため社会的な情報発信が求められる。最後に、ソーシャル消費が社会的課題の解決につながったかどうかを検証するため、年次レポートの作成が必要である。ソーシャル消費は税金や助成金ではない、社会的課題を解決するための新しい資金であり、消費者がリードする「新しい時代の社会作り」の一策と考える。

●本件に関するお問い合わせ先

ACAP 事務局

事務局長 石川純子

電話03-3353-4999

Email acap@acap.jp

以上

●ご参考

社団法人消費者関連専門家会議(ACAP)

社団法人消費者関連専門家会議は、お客様相談室など企業の消費者対応部門責任者で組織する内閣府の所管団体で、英文表記の The Association of Consumer Affairs Professionals の頭文字をとり ACAP(エイキャップ)の名前で親しまれています。

1980年(昭和55年)の設立以来、消費者、行政、企業相互の信頼の構築に向けて、各種研修、調査、消費者啓発活動を行っています。

会員数 正会員は、573社(696名)で、全会員数では903名 (2010年1月13日現在)

会長 高 巖 (麗澤大学教授 経済学部長)

理事長 滝田 章 (キッコーマンビジネスサービス株式会社)

連絡先 東京都新宿区新宿 1-14-12 玉屋ビル 5F

TEL 03-3353-4999 FAX 03-3353-5049

ホームページ:<http://www.acap.or.jp>